

Vol.  
83号



# やまぼうし

社会福祉法人 市島福社会  
認定こども園いちじまこども園

令和3年3月



こども園HP



〒669-4321  
兵庫県丹波市市島町上垣138-1  
(電) 0795-85-2330  
(fax) 0795-85-2335  
<http://www.ichijima-kodomoen.com>



<教育・保育理念>  
受容・信頼・貢献感

いきょう  
ちからいっぽい  
じぶんらしく  
まっすぐに

## 「じ」挨拶

市島福社会

理事長 西安五月



「春をみつけよう」

「子どもたちと

森の小さな動物たちは、  
春をみつけるのが  
とても上手です。」



「自然の中へでかけよう」

卒園される三十六名の園児たち、保護者の皆様、このたびは「卒園まごめでとうございます」。過去に例のない新型コロナウイルス感染症があつという間に全世界に蔓延し、この一年間世界中がまさに感染症とのたたかいとなつた一年でした。こども園にあってもその渦中において、園児には頻繁な手洗い、検温、マスク着用、室内換気などの感染症対応をしっかりと身につけ、自分のことを自分で生活が出来ました。

人類の歴史は感染症とのたたかいの歴史でもあります。そのたびに私たち人間は予防策や対処方法を見いだし現在に至りますが、自然は人間の都合の良いように作られておらず、あらためて人間が自然の中で生かされることを考えさせられる機会もありました。

いちじまこども園では教育・保育の目標として『いきょうちからいっぽいじぶんらしくまっすぐに!』を掲げ、その中でも「必要な生活習慣を身につけ、安定した心をもつ(健康な心と体)」「自然の中で活動し、生命を大切にする(自然との関わり、生命尊重)」などを育てたい力として取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応

ご卒園ほんとうに  
おめでとうございます。



「いちじまこども園は  
いつでもどこでも  
あなたを応援して  
いますからね」

今後も年間行事には自然活動を取り入れ、野外活動ムツレ・クニユータナ・ケノッベン教室や、元気クラブの方の協力による野菜栽培と園行事のご協力、地域のご支援による季節ごとの行事参加などをさせていただき、自然に生かされる人格形成に向け取り組みたいと思います。

当園で自分らしくまっすぐに生活した経験は、いくつになつてもあなたたちを助けて道を開いてくれるものと信じています。

雪がなくなると、最初の渡り鳥がもどってきます。太陽が水たまりの氷をとかせばすぐに生命が躍動します。

植物の芽はふくらみ、はじけます。そして子どもたちの好奇心が芽生えるのも、うれしい発見のひとつです。

子どもたちは、春一番のリストを作つて森のなかへ出かけます。自然ほど観察能力や想像力を鍛えてくれる環境は他にないからです。